

# 平成31年度における任意継続被保険者の 標準報酬月額の上限について

(参考)任意継続被保険者とは

お勤めの被保険者が退職した場合、退職後に加入する健康保険には主に3つの選択肢があり、そのうちの1つとして「任意継続」があります。

- ① ご家族の健康保険(被扶養者)
- ② 国民健康保険
- ③ 「任意継続」(健康保険任意継続被保険者)
  - ◆「任意継続」を選択した場合、原則として在職中と同様の保険給付を受けることができます。  
(ただし、傷病手当金・出産手当金を受けるには条件あり)
  - ◆保険料は退職時の標準報酬月額(上限あり)×保険料率で算出  
(在職中は労使折半 ⇒ 「任意継続」は全額自己負担)

# 平成31年度における任意継続被保険者の標準報酬月額の上限

任意継続被保険者の標準報酬月額の上限については、前年の9月30日における当該任意継続被保険者の属する保険者が管掌する全被保険者の同月の標準報酬月額を平均した額を標準報酬月額の基礎となる報酬月額とみなしたときの標準報酬月額となる。

平成30年9月末現在の被保険者一人当たり標準報酬月額(全被保険者の同月の標準報酬月額の平均)が291,181円であることから、平成31年度の標準報酬月額の上限については、300,000円とする。

平成30年度:280,000円(標準報酬月額等級:第21級) → 平成31年度:300,000円(標準報酬月額等級:第22級)

〈参照条文〉健康保険法(大正11年法律第70号)

(任意継続被保険者の標準報酬月額)

第47条

任意継続被保険者の標準報酬月額については、第41条から第44条までの規定にかかわらず、次の各号に掲げる額のうちいずれか少ない額をもって、その者の標準報酬月額とする。

一 当該任意継続被保険者が被保険者の資格を喪失したときの標準報酬月額

二 前年(1月から3月までの標準報酬月額については、前々年)の9月30日における当該任意継続被保険者の属する保険者が管掌する全被保険者の同月の標準報酬月額を平均した額(健康保険組合が当該平均した額の範囲内においてその規約で定めた額があるときは、当該規約で定めた額)を標準報酬月額の基礎となる報酬月額とみなしたときの標準報酬月額

被保険者1人当たり標準報酬月額の実績値

